

住・定住対策事業の実施とともに、健康づくりや生きがいづくりを推進し、誰もが住みやすい、誰一人取り残さない活力あるまちづくりの実現をめざした施策もおこなってまいりました。

令和6年度においても、医師不足解消のための施策や企業誘致制度の充実、さらに高齢者等の移動手段の確保に関する支援の実施など、生活に係る施策を充実させることにより、あらゆる分野・角度から住みやすいまちづくりを推進し、この「人口減少対策」について、取り組んでいく所存でございます。

成果や効果が見え難い課題ではあります。継続して対策を実施し、より効果的な事業を研究し続けることが重要と考えておりますので、今後も重点的に取り組んでまいります。

## スポーツ・観光

これまで「陸上競技の聖地実現プロジェクト」を主軸とし、さらに陸上競技以外の多様なスポーツも加え、町内のスポーツ施設などを活用することによりスポーツと観光を一体にし

た振興施策に努めてまいりました。

昨年3月の「スポーツ観光おおさき」設立から1年が経過し、順調に地域に根差した各種企画を展開することができております。令和6年度においても、さらなる可能性の模索や研究を行い、地域の振興に寄与する取組みを進めてまいります。

また、大崎町総合体育館は、町民の皆さまが気軽にスポーツをする機会を創出するだけでなく、災害時の防災拠点としての機能も有していることから、空調設備も含め、大規模改修工事を計画しております。

## 教育

大崎町の未来を担うのは子どもたちです。これまでも子どもたちを取り巻く教育の環境を充実させ、質の高い教育を提供することをめざして取り組んでまいりました。

GIGAスクール構想の下で整備しました教育環境およびICT活用などによる効果的な教育の実施や大丸小学校の屋内運動場床改修工事、各小学校の特別教室等の空調設備設

置工事など教育環境の改善にとどまらず、保護者の経済的負担を軽減するための入学援助金をはじめ令和6年度から実施する給食費の完全無償化など、学校の内外両輪から教育環境を支援し、さらなる教育支援の施策を模索・発展してまいります。

令和6年度における当初予算の主な要点を申し上げさせていただきます。したが、公約実現に向け、各般の施策に全力で取り組むだけでなく、各事業の効果や見直し等をしつかりと検証・検討し、より効果的な行政運営を図りながら、町政に努める所存でございます。

# 施政方針

大崎町長  
東 靖弘